

会 議 録

会 議 名 称	令和6年度 第2回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和6年6月13日(木) 午後1時30分開会 午後2時57分閉会
開 催 場 所	登米市消防防災センター 3階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 片岡 大助【副会長】 登米市景観形成会議 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 青柳 善信 登米市男女協働参画審議会 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 嘉藤 俊雄 登米市中学校長会 佐々木 貴子 特定非営利活動法人登米市体育協会 関 壮一 一般社団法人登米市医師会 高橋 雄大 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 穴戸 敬吾 登米市食生活改善推進員協議会 千葉 みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 斉藤 恵一 登米地域商工会連絡協議会 今野 秀俊 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 加藤 惣吉 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 公益社団法人とめ青年会議所 猪股 圭太郎 以上16人
欠席者(委員)の氏名	登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 登米市民生委員児童委員協議会 佐々木 啓 みやぎ登米農業協働組合 伊藤 良晴 登米市コミュニティ推進連絡協議会 伊藤 博 以上4人
事務局職員氏名	【事務局】 まちづくり推進部 部長 佐藤 靖 まちづくり推進部次長兼まちづくり推進課長 岩淵 治 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐(総合調整) 岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐兼まちづくり推進係長 高倉 徹 まちづくり推進部まちづくり推進課まちづくり推進係 主査 及川 匠
議 題	①令和5年度登米市まちづくり市民意向調査結果(速報)の報告について ②第三次登米市総合計画基本構想検討の考え方と骨子案について
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】第三次登米市総合計画基本方向の考え方 【資料2】第三次登米市総合計画の骨子について 【資料3】令和5年度まちづくり市民意向調査(速報版) 【別紙】基本政策(案)検討シートによる、委員の皆様からいただいた意見一覧表

発言者	発言要旨
事務局	<p>本日はお忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから、令和6年度第2回登米市総合計画審議会を開会させていただきます。本審議会は、登米市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則として公開となっておりますので、ご承知いただきますようお願いいたします。</p> <p>本日の審議会は、協議事項2件についてご審議いただきます。</p> <p>なお、次第裏面の委員名簿9番の鈴木敬一委員、12番の佐々木啓委員、19番の伊藤博委員の3名から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>開会に当たり、徳永会長よりご挨拶をいただきます。</p>
【1 開 会】	
会 長	<p>第1回は急遽欠席しましたが、議事録を読ませていただきました。活発にご議論いただき、ご意見をいただいたと思っております。</p> <p>本日は、2月に実施したまちづくり市民意向調査の結果について速報の報告を受け、総合計画の基本構想の考え方と骨子案について審議いただきます。</p> <p>本日も皆様方から忌憚のないご意見をいただき、進めていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは議事に入ります。議長については、登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり議事の進行を行っていただくこととなります。よろしくお願いいたします。</p>
【2 議 題】	
会 長	<p>審議会条例第7条2項の規定により、本日の会議は委員の半数以上の出席が必要です。本日は16名の委員に出席をいただいております、半数以上の出席で会議は成立しておりますことを確認します。</p> <p>議事録の署名人については、13番の千葉みどり委員と14番の齊藤恵一委員にお願いします。</p> <p>それでは議題に入ります。本日の審議案件2件、(1)まちづくり市民意向調査結果の報告、(2)総合計画基本構想検討の考え方と骨子案について、合わせて事務局からご説明をいただき、そのあとご意見、ご質問を頂戴できればと思います。それでは事務局、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	(配布資料1、2に基づき説明を行う)
会 長	<p>それでは皆様方から、ご意見、ご質問をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>先に私からアンケートに関して、年齢や地域の構成比などが全体をバランスよく代表したものになっているか、例えば、年代や町域ごとの人口に対する回答率がどうなのか、といったこともお示しいただきたいと思っております。</p> <p>一般的に、市全体で300数十というサンプルがあれば十分とのことですが、若い人たちや高齢者など、区分しながら分野別に集計すると、若干少ないと思うので、その辺りの扱いは注意が必要だと思いますが、ある程度、地域別や年齢別で、いわゆるクロス集計は行った方がいいと思います。</p> <p>例えば、高齢者にとっては、「やすらぐまち」が最重要ということかもしれませんが、一方で若い人にとっては働く場など、気になることが違う可能性もあります。そのあたり、しっかり踏まえておきたい点です。</p> <p>重要度と満足度の評価は、自分の関心のあるところは重要度が高く満足、あるいは、そこに対する不満が強いということ、はっきり方向性が出ます。一方で、あまり興味がないところや、普段ほとんど触れ</p>

	<p>る機会がない分野に関しては、重要度も満足度も、よくわからないと中間の評価になってしまうなど、特に関連する人が少ない分野に関しては、注意して集計する必要があると思います。</p>
事務局	<p>このアンケートは無作為抽出ですが、人数は町域や年代に比例させており、迫町など人口が多いところは対象者数が多くなっております。</p> <p>回答者の年代については、10代から50代までと、60代以上に区分すると、10代から50代までが約42.2%、60代以上が約57%という割合であり、突出して高齢者の意見が多く反映されているということはありません。現在、さらに年代を絞って分析しているところです。</p> <p>必要性が高いと考えられる項目で、病院・医療の充実について年代別に調べたところ、高齢の方よりも、若い方から病院が必要という回答をいただいております。若い方が産科や小児科を求めているというのがアンケートで見えてきているところです。</p> <p>重要度・満足度を分析しておりますが、移住定住の分野について、移住関連の施策に関わる方が少なく、長く登米市に住んでいる方にとっては関心が薄い可能性があります。</p> <p>ただし、取組の必要性は人数だけで判断するわけではございませんので、少ない回答数であろうともきちんと捉え、今後のまちづくりに取り組んでいかなければならないと考えております。</p>
会長	<p>この貴重なデータをしっかりと施策に生かせるように分析を続けていただければと思います。</p> <p>今回、基本構想の考え方・骨子案を出していただきましたが、基本政策を前回5つに分けていたところを3つにするということで、細かく縦割りにしすぎると相互に関係する施策がバラバラになる危険性もあるので、3つぐらいが適切かと思っております。</p> <p>ただ、その下の階層の政策の分野が縦割りになっているという感覚があります。先ほどの説明であった社会インフラに関して、「やすらぐ」を支える社会資本整備もあるが、「にぎわう」まちづくりのための社会資本整備もあるだろうと、両方にまたがるだろうと思います。</p> <p>例えば、スポーツも「にぎわう」なのか、生活を豊かにするための「やすらぐ」なのか、どちらがいいか。子どもも、未来につながるという意味での「つながる」に子どもが入ってくることでいいのか、「にぎわうまち」を作っていくために、就職も含めて子どもの教育、子育てとすることもあっていいのでしょうか。</p> <p>この辺りを少し具体的に議論していかないと、目指す「やすらぐまち」「にぎわうまち」とは何かははっきりと見えない、共有できないのではないかという気がしています。</p> <p>そういう意味で、今回、キーワードはこれで決定ではないという説明でしたので、今後その中身を詰めていく中で、よりふさわしい、中身を体現した標語として出せればいいと思います。</p>
事務局	<p>事務局としても、第二次総合計画では5つに分けていたものを、今回はより市民の方にわかりやすいよう3つに絞りたいと考えております。</p> <p>各分野に関連する事業は多くございます。ご指摘のとおり、社会インフラや公共交通についても、公共交通があれば市民が安心できる「やすらぐ」なのか、拠点を結んで「にぎわう」ことと考えるのか、それとも「つながる」と考えるのか。スポーツについても、心がやすらぐこともあるし、次世代の子供たちにスポーツをつないでいきたいという分け方もできます。</p> <p>政策は分野をまたいで関連していますが、市民の方に総合計画として見せるときに、主たるところで示していくのが市民の皆様によりわかりやすい計画書になるのではないかと考えています。</p>

	<p>なお、個別政策の下にくる取り組むべき個別事業等も今後お示しいたいと思います。事業も見た上での皆様のご意見をいただきながら、市民の方が、よりわかりやすい計画書を作成していきたいと考えております。</p>
会 長	<p>一番心配しているのは実は市役所内部の話で、他の分野と連携しながらどう見せるかですが、縦割り行政になってしまわないよう見せ方の工夫をぜひお願いしたいです。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。現在の行政サービスをしている中でも、しっかりと横軸・部局横断的に進めていかなければならないものが市民ニーズから見ても多々ございます。</p> <p>縦割りではなく横軸も連携した形が取れるように、計画にも反映していきたいと考えております。</p>
委 員	<p>基本理念の協働によるまちづくりについて、協働とは誰と誰の協働を示して使われているのかを教えてください。</p>
事務局	<p>協働の部分について、市民の皆様と行政との協働、あとは市民同士の協働や、NPOやまちづくり団体といった方々との協働など、広い意味で協働という表現としております。</p>
委 員	<p>資料に記載のとおり、まちづくり基本条例第4条に、登米市による協働という文言があり、第二次総合計画から使われているということですが、当時からそういった意味での協働という言葉だったということでしょうか。</p>
事務局	<p>そういうことでございます。</p>
委 員	<p>承知しました。</p> <p>前回のまちづくりのキーワードが「そだつ」「いきる」「つくる」「くらす」「ともに」で、成功したから減らして絞るということは、私は賛成ではありません。</p> <p>政策の分野も数を減らしたということですが、こちらは達成されたから減らしたのか、それとも、一極集中で悪いところを直すため、力を込めるために減らしたのか、会議の経緯がわかれば教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>政策の分野の分け方について、基本的には基本政策のワードを「やすらぐまち」「にぎわうまち」「つながるまち」とした上で、これを目指すに当たってどういった政策の分野を入れ込むのがいいか検討いたしました。第二次登米総合計画の中で成功した、失敗したということではありません。このような評価の部分については、またその下の階層の、取組のところでは強弱をつけていきたいと考えております。</p> <p>政策の分野については、3つの基本政策を目指すに当たって、どういった取組をしていくべきかという枠をお示ししたもので、減った、減らないというよりは、このような政策の区分がいいのではないかと分野分けをした結果という考え方で、ご理解いただければと思います。</p> <p>前回までは政策の分野がもう少し数があったものを今回11に絞りました。前回、農林業、起業創業、商工業・観光と3つに分けていたものを産業という1つのパッケージにしたことで今回数が減っております。取組は道半ばですので、減ったということだけでなく、これからも継続していくことと捉えております。</p>
委 員	<p>承知しました。第二次総合計画の評価をして、何かしらPDCAをまわした上で新しい3つの策定かなと思っておりました。</p>
会 長	<p>ご指摘のように、前回の評価に基づいて何ができて何ができていないから今回こうなるというストーリーが、まだあまり見えてない段階であり、これでいいかという議論がなかなかしにくいと私自身は思っております。</p>

	<p>次回以降、そのあたりのことも出てくるかと思えます。それをご覧いただき、具体的な中身の方についてさらにご意見をいただくという形で進めていくことになるかと思えます。そういう理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>今の計画の期間が令和7年度までの10年、第三次は令和8年度から令和17年度まで10年間の計画です。</p> <p>評価については、令和7年度末時点の第二次計画の最終評価は、第三次計画が出る前にお示しすることができませんが、取組については毎年この審議会の中で評価検証しておりますし、現在、平成28年度から令和5年度までの総括的な検証を実施しておりますので、それらの評価をできるだけ早くこの会議でお示しし、第三次計画に反映していきたいと思っております。</p> <p>計画が始まったあとの評価では遅いと思っておりますので、これまで積み上げてきた評価をもって、令和8年度の計画に反映させていただきたいという考えでございます。</p>
会長	<p>8年間の実績をもって暫定評価をしていただいて、それに基づいて次期計画を作っていくと思えますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今回、タイトル案を考えていただきましたが、考えるに当たって、こういうことも扱って欲しいとか、この視点が抜けているのではないとか、お気づきの点があれば、ぜひお話いただければと思っております。</p> <p>私としては「つながるまち」では、旧町域間の連携・地域間のつながりが表現されていないので、その点も必要ではないかという気がしております。場合によっては地域を超えての広域連携を考えていく必要があるのではないかと、それをどこで扱うのかというところもあります。視点として持つておく必要があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域間連携や広域連携の部分について、大変重要な視点だと捉えております。今後の課題や取組を整理していく中で、分野についてどのような表現で計画に反映できるのか検討してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>本日の説明を聞き、5つの基本政策の部分で3つのテーマにということで、私はとても良いことだと思います。</p> <p>細分化されておりますと、どうしても課同士での予算の取り合いになってしまうと思えますので、連携して大きなものができるという意味では、3つの大きな括りにするということが、とてもいいことだと思っております。</p> <p>その中で子どもについて、子育て支援と学校教育が「つながる」に入っていますが、医療と福祉と教育の3つは切り離せない分野ですので、そこがもう少し近く、連携できるような構成にはしてはいかがでしょうか。</p> <p>この3つの基本政策の下をどのような表現にするのかはこれからだと思いますが、各課でどう連携していくかを重点化していただき、細分化せず、課を連携して目標を持っていただければと思っております。</p> <p>子どもと子育てと学校教育を「つながる」とした場合の、「つながる」の下にできる事業というのが少し想像できないので、今後の構想で考えていただければと思っております。以上です。</p>
事務局	<p>教育の分野について医療や福祉等、大きく関連があるという視点は大変重要だと思っております。それ以外にも各分野で、様々な分野と関連する部分が多々ございます。</p> <p>関連する部分についても、この計画の中でこういった表現がふさわしいのか、また、その関連する部分とどのような連携をとりながら政策を進めていくのか、書きぶりについても検討してまいりたいと考えております。</p>

委員	分野をまたぐ最重要プロジェクトということで、「人口減少対策」をオレンジ色で今回初めて強調されたかと思います。これについて、どのように登米市でお考えなのか、今後このように進めたいといった考えがあれば、教えていただければと思います。
事務局	各自治体も同様ですが、人口減少対策は最重要課題と捉えております。政策の分野を検討する中でも、当初は、人口減少対策を盛り込む予定でしたが、検討を進める中で、人口減少対策という取組がこの中の1つの分野としていいのかという議論になりました。例えば、子育て支援、結婚対策、少子化対策など、様々な分野と絡んでおり、最も克服しなければならない課題である人口減少対策は、各分野を横断するような形で課題設定し、個別の施策に取り組むことで、最終的に人口減少対策につながるのではないかと、個別の分野を置かずプロジェクトとして取組を整理してはどうかという形にさせていただきました。
会長	前は、この総合計画と関連して地方創生の戦略を作成し、この重点プロジェクトという位置付けで設定されていた気がしますが、第三次ではどのような形になるのですか。
事務局	現在の第二次登米市総合計画では、重点戦略プロジェクトとして整理している部分は人口減少対策であり、まち・ひと・しごと総合戦略で整理している部分に相当します。 第三次総合計画についても、まち・ひと・しごと創生総合戦略と総合計画と一体化してはどうかとの議論はありましたが、総合計画と、新しく克服しなければならない人口減少対策を一緒にすることを疑問視する議論もあったことから、検討段階ではございますが、第三次総合計画は第二次総合計画と同じスタイルとし、人口減少対策の取組は別立てで整理しお示ししていきたいと考えております。
会長	重点戦略プロジェクトの人口減少対策というのは、総合戦略とは別ですか。
事務局	人口減少対策の取組としては同じですが、整理の仕方として、創生総合戦略として整理する部分と、総合計画として整理する部分というような扱いで、分けていきたいと考えております。 基本政策、政策の分野、個別政策、この下の個別の取組は、すべてが人口減少対策につながるということで、位置付けております。 人口減少対策の捉え方ですが、日本では5年で90万人の人口減少となっており、10年前に人口を戻そうということではありません。日本全体が人口減少社会に入っていく中で、登米市がしっかりと持続可能なまちをつくっていく、人口減少をできる限り緩やかにしたいという取組です。すべての取組が人口減少対策につながるかと考えておりますので、そういう意味で、最重要プロジェクトとして位置付けております。
会長	中身が具体的によくわからない段階であるということもありましたが、次回以降、いろいろ情報が出てくるかと思います。併せて、今回より詳細な中身、資料1の3ページにまとめられているあたりの中身をしっかりと詰めていければと思っているところです。 今回、基本政策を3つに分ける点については概ねご了解いただけたかと思います。今後、その中身についてしっかり詰めて、その下の個別政策等に落とし込んでいく作業が続いていくことになろうかと思いますが、そのような形で進めさせていただく、ということによろしいでしょうか。 それでは事務局、取りまとめ作業、資料整理など、よろしくお進めいただければと思います。
【3 その他】	
事務局	次第の3、その他について、事務局から1点、審議会の任期について

	<p>お話をさせていただきます。</p> <p>登米市総合計画審議会の委員の任期は、条例により、2年と定められており、現在、皆様は、今年の8月21日までの任期となっております。この審議会の委員については、各関係団体からの推薦により選任され、委員としての委嘱をさせていただいております。</p> <p>次の審議会の開催が8月の下旬を予定しており、現委員の任期が切れるタイミングとなります。新たな任期として委嘱された委員の方により、審議を継続していくこととなります。</p> <p>つきましては今月中に、各関係団体様への推薦依頼の文書を発送いたします。そして各関係団体の方からご推薦をいただき、ご推薦された方からの承諾を経て、新たな委員が決まります。</p> <p>なお、ここにいらっしゃる皆様には、ぜひ再任いただき、継続してご審議いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>委員は仕事をしていて出席できない場合も結構増えると思うのですが、委員は任期なしで公募の形とすることはできませんか。</p> <p>新しい方が委員となっても、これまでの経過や会議の目的が分からないので、意見を述べるのは難しいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>この総合計画審議会は、学識経験者、市民の代表、公共的団体から推薦いただいた方などから構成されております。</p> <p>色々な団体がありますので、関連している様々な分野の代表からご意見をいただいて、総合計画を作りたいと思います。各団体の方にご案内を出して推薦をいただき、この審議会でご意見をいただいているところがございます。</p> <p>行政や市民サービスに関連している団体の方からの意見も踏まえて計画を作りたいという思いで、委員の皆さんに参加いただいております。</p> <p>総合計画は市の根幹となる計画です。関連する団体の方は自分たちの活動に対して見識を持っておりますので、色々な視点をお持ちの皆さんに集まっていただき、色々な角度からご意見いただきたいと思い、審議会を開催させていただいております。</p>
委員	<p>団体の役員では任期が短いので、団体の職員が委員となり、長期間在任するほうが、経過を把握できると思うのですが、団体の職員ではいけませんか。</p>
事務局	<p>職員の方でも構いません。</p> <p>総合計画は、登米市の最上位に位置する計画です。細々としたことまでは決めず、大きい矢印を決めていく計画になります。登米市としては何を指すのか、どういう理想像を持っていくのか、それに対してどのような政策分野を持っていくのかという大きいところだけ、各々の枠を決めて、それに向かっていく。例えば、農業であればこうしよう、林業であればこうしようと、大きい矢印を示す計画になっています。</p> <p>登米市総合計画審議会条例がございます。その中に、公共的団体の役員または職員となっておりますので、団体で、委員がご指摘のとおり、役員はすぐ変わってしまう可能性があるが、職員だと長く勤めることができるので、もっと意見が出るのではないかという、貴重なお話だと思います。</p> <p>市としては、役員に限らず、職員の方に来ていただいても全く問題ございません。ぜひ、組織にお戻りいただいた際に、職員の方にお声がけをいただいて、ご推薦をいただければと思っております。</p>
事務局	<p>その他ございませんか。</p> <p>それでは閉会の挨拶を副会長、よろしく願いいたします。</p>
【4 閉会】	
副会長	<p>様々な観点からご意見、ご要望をいただき、ありがとうございます。</p>

	<p>私は、このアンケートの結果を見て、ずっと住みたいという方が68.1%、わからないという方が15.1%、わからないという方は「登米市でいいよね」と言えば「そうです」というような方だと思うので、8割以上の方が、登米市をととてもよく思っているベースがあつて、いろんな計画が立てられていく。ぜひそのベースを大事にして、このアンケートの結果を生かしていただければと思っております。</p> <p>10年後、20年後、50年後、今の子どもたちのために、私たちができることをできる限りやっつけていければと思います。私は私の立場で、登米市のいいところを子どもたちに伝えて、登米市にずっと住みたい、一度出てもまた戻ってきたいと思ってもらえればと思っています。</p> <p>本日は大変ご苦労様でございました。</p>
事務局	<p>副会長、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第2回登米市総合計画審議会を終了いたします。貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございました。</p>